

校長室だより

No. 42

平成 28 年 3 月 11 日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

か とう よし かず
加 藤 嘉 一

誕生月の会食終了 では、「知恵の棒」の解答を



さて、校長室だより第8号（5月29日号）で御紹介しました、誕生月の会食で一人一人にプレゼントしてきた「知恵の棒」。ストラップのようなものですが、紐が短くて、どこにでも簡単につけられるのではありません。でも知恵を使うと、あらあら不思議、付けることができます。これまで何人かの子が、付ける方法を見つけ、校長室に見せに来てくれました。会食をしている最中、ちょこちょいじっていたら、その場でできてしまった子もいました。

全員にプレゼントし終わったので、今日は、その解答をいよいよ明かすことにします。

【解答（手順）】

- ① 知恵の棒の紐（写真黄紐）の輪の中に、相手になる紐（写真黒紐）を通します。
- ② 相手になる紐の輪の中に知恵の棒の先端を入れます。
- ③ 相手になる輪の中で、棒が抜けていくようにそのまま通します。
- ④ ⑤ 両方の紐の収まりがよいように整えます。 ※はずし方はこの逆順で



完成！



これは、自分が子供のころ、我が家に来たお客さんに教えてもらった遊びです。そのお客さんのいたずらで、これと同じようなもの（このときの棒は金属のもの）を自分のズボンのベルト紐に付けられました。「はずしてみろ」と言われ、そのままにされました。四苦八苦してはずしました。ですから、自分は、その逆の道筋を思い出しながら、はめ方を考えた覚えがあります。これは、**不足を別のもので補完する**という発想があります。昔の人たちは、こういう知恵や発想が得意だった気がします。また、この知恵の棒は、理屈で考えていなくても、あれこれいじっているとできる場合があります。そこから理屈を考えてもいいのです。これは、教育にも通じると思うのです。

とても子供332人に穴のついた金属棒を用意することはできなかったもので、悩んだ末、竹を買ってきて自分で作ることにしました。サイズや材料、制作方法も試行錯誤しました。私のいい勉強になりました。

3月8日（火）、今月誕生月の5・6年生6人との会食を終え、これで全校の子供たちの誕生を祝う会食会が終わりました。楽しかった。正直に言って、楽しいひと時でした。なかなか子供たち一人一人と時間を共有することや、食事を一緒にしていろいろな子供たちの話を聞く機会をもてません。食事をしながらもギャグをいう子、特別な場で食べることがうれしくてずっとおしゃべりがとまらない子など、子供の楽しい一面が見られ、うれしかったです。

気持ちのよい方たち —おやじの会の作業—

6日（日）の9時から、本校のおやじの会の方々が、北舎北側の側溝のふたを作ってくれました。これで子供が落ちてけがをすることがありません。大変ありがたかったです。



今回来られた方々からお話を聞くと、学校で男手が必要なことを中心に、8年前から作業に来てくださっているそうです。そこで感動したのが、会長を決めてやるのではなく、気のついた人が学校や周囲の方、前年集まった方々に連絡を取り合って、来られる人で行っていることでした。だれかが指示するような関係ではなく、一緒に気持ちよく学校のためにできることをしたいと考えられたのだそうです。すごい。しかも前日に、8年前に始めた方が飲み物の差し入れもしてくれました。

今回来られた方の年齢は、40歳から45歳の方が中心。気持ちのいい方々でした。失礼ながら、いまどきの中年、とっても素敵です。